

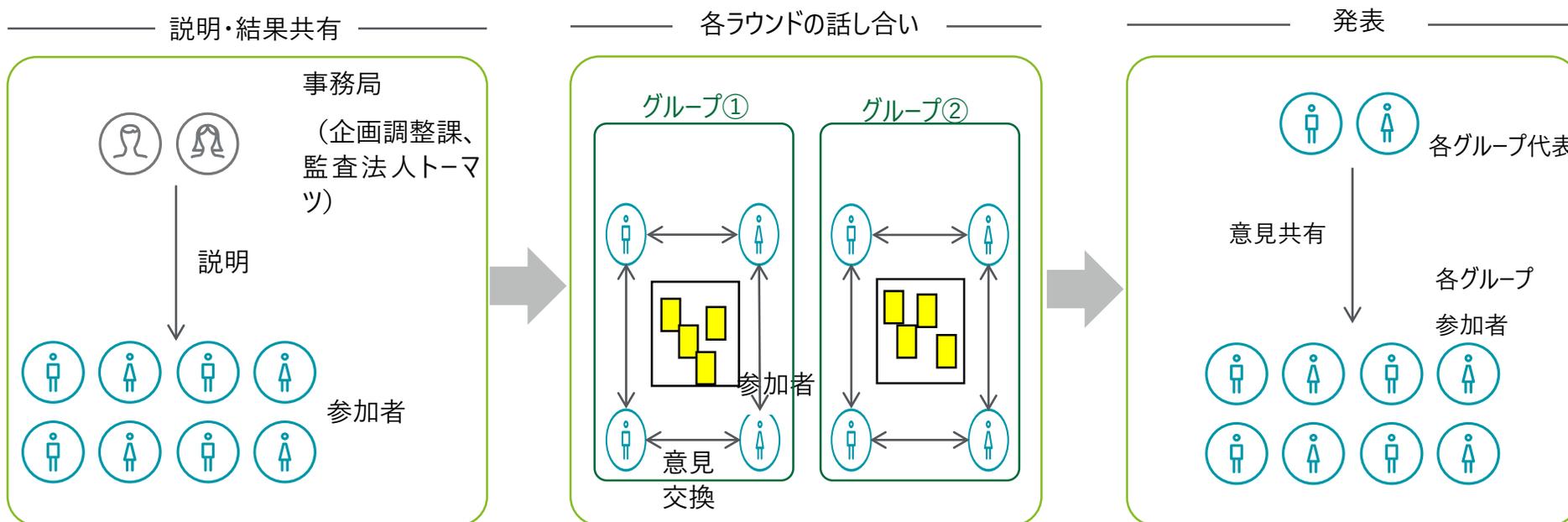
伊勢崎市まちづくり市民ワークショップ報告書（概要版）

令和5年10月

伊勢崎市まちづくり市民ワークショップについて

開催の目的・実施方法

- 伊勢崎市民等が抱く、市の魅力や将来の市に対する思いや願いを、他の参加者との交流・意見交換を通じて挙げてもらう場を設定し、市民が主体的に検討した上で、第3次伊勢崎市総合計画の策定に繋げることを目的としてワークショップを実施しました。
- ワークショップはカフェでリラックスしているような雰囲気でも議論していただくために、ワールドカフェ方式で実施し、各ラウンド間に席移動していただくことで、まるで会場内の全員と対話しているようなワークショップとしました。
- 参加者には、5グループにそれぞれ分かれて話し合いをしていただきました。合計3回の話し合いにおいては、付せん意見を書き込み、それを他の参加者に共有しながら模造紙に貼り付けていただきました。
- 最後に各グループの代表から全員に向けて意見を発表していただきました。



伊勢崎市まちづくり市民ワークショップについて

各回の日程・テーマ

- ワークショップは合計3回の構成とし、第1回では「市の将来像を考える」、第2回では「各世代にとって理想の伊勢崎市を考える」、第3回では「多様な人が共に過ごせる伊勢崎市を考える」をメインテーマにそれぞれ話し合いをしていただきました。
- 各回の日程、開催時間等の詳細は下表のとおりです。

	第1回	第2回	第3回
日程	令和5年9月10日（日）	令和5年9月24日（日）	令和5年10月15日（日）
開催時間	各回とも14:00～16:00		
開催場所	各回とも伊勢崎市役所		
対象者	各回とも18歳以上の市内在住の方		
参加者数	23名	25名	25名
メインテーマ	市の将来像を考える	各世代にとって理想の伊勢崎市を考える	多様な人が共に過ごせる伊勢崎市を考える
ラウンド テーマ	1. 伊勢崎市の好きなところ 2. 他にはない伊勢崎市の魅力 3. 10年後の理想の伊勢崎市	1. こどもにとって理想の伊勢崎市 2. 若者にとって理想の伊勢崎市 3. 高齢者にとって理想の伊勢崎市	1. 地域間の共生 2. 世代間の共生 3. SDGsによる共生（外国人、障害者など）

各ワークショップにおける市民意見

第1回：市の将来像について考える

- 第1回のワークショップでは、まず、総合計画策定の目的や市民ワークショップ開催の趣旨について説明した後、市の人口・財政状況及び社会動向、アンケート結果等のインプットを簡単に行い、話し合いの進め方について説明しました。
- 第1、第2ラウンドでは、まずテーマに関するエピソードをお話いただき、他者の発言を受けてさらに思いついたことや考えが変化したことがあれば発言していただきました。
- 第3ラウンドでは、皆さんが思い描く市の将来像について、想いやエピソードをお話いただいた上で、それらを重要度順に分けて整理していただきました。
- ワークショップ報告書においては、ラウンドごとに、ワークショップ内で出された意見を現行計画の各政策の分野に沿って分類しました。なお、基本政策1に該当する「健康・医療分野」と「福祉分野」については、意見が少なかったため統合し、全体で9つの分野にて分類しています。

第1ラウンド

■ ラウンドテーマ

伊勢崎市の好きなところ

■ 意見の分類・傾向

全部で103件の意見をいただきました。そのうち、「都市基盤分野」に該当する意見が36件と最も多く、続いて「産業・観光分野」が31件ありました。

最も意見が多かった「都市基盤分野」の意見としては、「交通の利便性が良い」、「車移動に優しい」、「程よく田舎で程よく都会」といった意見が多く寄せられました。

第2ラウンド

■ ラウンドテーマ

他にはない伊勢崎市の魅力

■ 意見の分類・傾向

全部で93件の意見をいただきました。そのうち、「産業・観光分野」に該当する意見が33件と最も多く、続いて「都市基盤分野」が24件ありました。

最も意見が多かった「産業・観光分野」の意見としては、「工場が多い、工業団地がある」、「伊勢崎ブランドがある」、「華蔵寺公園や世界遺産などの名所がある」といった意見が多く寄せられました。

第3ラウンド

■ ラウンドテーマ

10年後の理想の伊勢崎市

■ 意見の分類・傾向

全部で92件の意見をいただきました。そのうち、「都市基盤分野」に該当する意見が25件と最も多く、続いて「産業・観光分野」が21件ありました。

最も意見が多かった「都市基盤分野」の意見としては、「車がなくても住みよい」、「バス、電車網の整備・利便性向上」、「公共施設の充実」といった意見が特に重要度が高い意見として寄せられました。

各ワークショップにおける市民意見

第2回：各世代にとって理想の伊勢崎市について考える

- 第2回のワークショップでは、まず、第1回のワークショップの振り返りをした後、市民アンケートや高校生・大学生アンケートの結果等のインプットを簡単に行い、話し合いの進め方について説明しました。
- 各ラウンドでは、まずテーマに関するエピソードをお話いただき、他者の発言を受けてさらに思いついたことや考えが変化したことがあれば発言していただきました。
- 意見が出そろった後、理想の伊勢崎市の実現にかかる時間（短期・中期・長期）ごとに意見の整理を行っていただきました。
- ワークショップ報告書においては、ラウンドごとに、ワークショップ内で出された意見を現行計画の各政策の分野に沿って分類しました。なお、どの政策分野にも属さないと考えられた意見については「その他」としてまとめ、全体で11の分類で意見を整理しています。

第1ラウンド

■ ラウンドテーマ

こどもにとって理想の伊勢崎市

■ 意見の分類・傾向

全部で118件の意見をいただきました。そのうち、「都市基盤分野」に該当する意見が37件と最も多く、続いて「生涯学習・スポーツ・文化分野」が18件ありました。

最も意見が多かった「都市基盤分野」の意見としては、「交通機関の充実」、「通学がしやすい」、「友達と自由に遊べる場所づくり」といった意見が多く寄せられました。

第2ラウンド

■ ラウンドテーマ

若者にとって理想の伊勢崎市

■ 意見の分類・傾向

全部で118件の意見をいただきました。そのうち、「産業・観光分野」に該当する意見が46件と最も多く、続いて「都市基盤分野」が18件ありました。

最も意見が多かった「産業・観光分野」の意見としては、「働きやすい職場環境」、「飲食店・商業施設の充実」、「働く世代との交流が多い」といった意見が多く寄せられました。

第3ラウンド

■ ラウンドテーマ

高齢者にとって理想の伊勢崎市

■ 意見の分類・傾向

全部で125件の意見をいただきました。そのうち、「都市基盤分野」に該当する意見が32件と最も多く、続いて「生涯学習・スポーツ・文化分野」が22件ありました。

最も意見が多かった「都市基盤分野」の意見としては、「車以外の移動手段が豊富にある」、「階段・段差の少ないバリアフリーなまち」、「徒歩圏内に病院が多い」といった意見が多く寄せられました。

各ワークショップにおける市民意見

第3回：多様な人が共に過ごせる伊勢崎市を考える

- 第3回のワークショップでは、まず、第2回のワークショップの振り返りをした後、障害者や外国人に関する市の現況の説明や市の取組の紹介などのインプットを簡単に行い、話し合いの進め方について説明しました。
- 各ラウンドでは、まずテーマに関するエピソードをお話いただき、他者の発言を受けてさらに思いついたことや考えが変化したことがあれば発言していただきました。
- 意見が出そろった後、「地区別（第1ラウンド）」、「世代別（第2ラウンド）」、「SDGsの視点（障害者、外国人、LGBT、その他共生）」で挙げられた意見をハード・ソフト・意識（第3ラウンド）」で分類していただきました。
- ワorkshop報告書においては、ラウンドごとに、ワークショップ内で出された上記の分類に沿って分類しました。

第1ラウンド

■ ラウンドテーマ

地域間の共生

■ 意見の分類・傾向

全部で145件の意見をいただきました。そのうち、76.6%（111件）が各地区の長所に関する意見、19.3%（28件）が各地区の短所に関する意見でした。

伊勢崎地区では「中心市街地であり交通のアクセスも良い」という意見が多く、赤堀・東・境地区では「自然が豊かである」、「高校がない」といった意見が多くありました。

第2ラウンド

■ ラウンドテーマ

世代間の共生

■ 意見の分類・傾向

全部で105件の意見をいただきました。そのうち、若者に関する意見が50件と最も多く、続いて、高齢者に関する意見が26件ありました。

全体的に他世代や地域との交流に関する意見が多くありましたが、子どもや若者では「積極的なイベントへの参加」、中年代や高齢者では「イベントや交流機会の企画・創出」と意見に、少し異なる主体性が見られました。

第3ラウンド

■ ラウンドテーマ

SDGs（外国人、障害者など）による共生

■ 意見の分類・傾向

全部で120件の意見をいただきました。そのうち、外国人に関する意見が47件と最も多く、続いて、障害者に関する意見が25件ありました。

障害者に関する意見ではバリアフリーといったハードに関する意見が多く、外国人に関する意見では、多言語化や文化の理解といったソフトに関する意見が多くありました。